



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月10日

上場会社名 株式会社コンフィデンス 上場取引所 東
 コード番号 7374 URL <https://confidence-inc.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澤岷 宣之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 永井 晃司 TEL 03(5312)7700
 四半期報告書提出予定日 2022年11月10日 配当支払開始予定日 2022年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	2,544	21.5	501	41.5	500	44.1	339	45.2
2022年3月期第2四半期	2,094	—	354	—	347	—	233	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 339百万円 (45.2%) 2022年3月期第2四半期 233百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	74.04	71.76
2022年3月期第2四半期	52.79	50.27

(注) 当社は、2021年6月28日に東京証券取引所マザーズに上場したため、2022年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2022年3月期第2四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	2,557	1,815	70.7
2022年3月期	2,437	1,655	67.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 1,806百万円 2022年3月期 1,648百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2023年3月期	—	20.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,200	17.5	850	14.0	848	14.9	585	10.3	127.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	4,585,800株	2022年3月期	4,580,400株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	一株	2022年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	4,581,115株	2022年3月期2Q	4,425,301株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、前連結会計年度より引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長期化した中において、感染症拡大防止策に万全を期し、徐々にそれ以前の経済活動が再開してまいりました。一方で、欧州での紛争に端を発する燃料価格・穀物価格の上昇といった世界的な経済問題に加えて、グローバルでの金利調整などを背景とした円安進行や物価上昇による家計、企業への影響などもあり、国内外における経済的な見通しは不透明な状況が続いております。

当社が主にサービス提供を行っているゲーム業界においては、国内家庭用ゲームのハード市場の規模は拡大している一方で、ソフト市場は若干縮小しており、ハードは2,028.7億円で前年対比109.3%、ソフトは1,585.2億円で前年対比87.2%、ハード・ソフト合計では3,613.9億円と前年対比98.4%（出典：ファミ通ゲームソフト・ハード売上ランキング 2021年年報）となっており、合計ではほぼ前年並みの規模を維持しております。加えて、2021年の世界のモバイルゲーム市場規模は9兆1,697億円で前年比118.7%、その中でも日本の市場規模は1兆3,060億円で前年比107.8%となっております（出典：ファミ通モバイルゲーム白書2022）。これらのゲーム市場の規模拡大により、ゲーム会社各社の業績は堅調に推移しております。

このような環境の中、当社グループでは、人材事業については、主力のゲーム会社向け派遣事業において配属者数を拡大するため、新規取引先の開拓のみならず、既存取引先のさらなる深耕に取り組んだことにより、派遣事業の業績は堅調に推移しました。メディア事業については、前連結会計年度から継続してページビュー数は下落傾向であり、当第2四半期連結会計期間では若干回復傾向にあったもののアドネットワーク事業による売上高は前年同期と比較して減少しております。アドネットワーク事業による売上高の減少を補うべく、SNSの運用代行やゲーム会社向けのプロモーション支援サービスの案件数の増加に努めております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、ゲーム会社向けの人材派遣の配属者数が増加したことから、売上高は2,544,586千円（前年同期比21.5%増）となりました。また、営業利益の観点では、売上高の増加による売上総利益の増加に加え、生産性の向上に努める一方、業容拡大に伴う本社スタッフの増員による人件費の増加や事務所移転関連コストの発生などにより販売費及び一般管理費が増加したことを踏まえ、営業利益は501,045千円（前年同期比41.5%増）、経常利益は500,358千円（前年同期比44.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は339,163千円（前年同期比45.2%増）となりました。

報告セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<人材事業>

人材事業においては、主力のゲーム会社向け派遣事業に加え、ゲーム会社向け及びIT・Web業界向け人材紹介事業並びにゲーム会社を中心とした顧客からの受託事業を展開しております。

人材派遣事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大が継続している中でもゲーム会社のクリエイター需要は継続しており、新規取引先の開拓に加え、既存取引先の部署別・タイトル別開拓を行うことにより、受注案件数を拡大しております。クリエイターの採用市場においては、採用媒体の選定や採用広告の出稿配分を最適化することにより、ゲーム会社からの需要に応えられるクリエイターを採用することが出来ております。その結果、配属者数は前連結会計年度末から順調に増加しており、クリエイターの稼働率は高い水準で推移しております。

人材紹介事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大による巣籠もり需要によって、ゲーム業界の人材需要は高まっており求人数は増加傾向にあります。しかしながら、我が国経済の先行きが不透明であることを懸念し、求職者の転職動向は消極的なものとなっており、また、リモートワーク中心の就業状況が続いているため、オンラインでのコミュニケーションによる就業が可能な人材を求める傾向にあり、求人企業が求める求職者に対するハードルが高まっております。これらを背景に、紹介人数の実績は伸び悩んでいる状況にあります。これらの対策として、人材派遣事業との連携による求人企業のチャネルや案件増加、求職者の募集強化及び求職者と求人者のマッチング精度向上を図り、紹介人数の増加に取り組んでおります。

受託事業においては、主にゲームタイトルのデバッグ業務を受託しております。ゲームタイトルのデバッグ業務は守秘性が高いことから、2020年4月に新宿区に専用オフィスを立ち上げ業容拡大の準備を整えるとともに、営業・管理体制の強化を図りました。現在稼働中の案件は安定的に推移しており、人材派遣事業との連携を図ることで、新規案件のリード獲得数も増加しているため、業績は堅調に推移しております。

この結果、当セグメントの売上高は2,510,718千円（前年同期比21.9%増）、セグメント利益は730,996千円（前年同期比35.6%増）となりました。

<メディア事業>

メディア事業においては、当社グループが運営する女性向けメディア「Lovely」のページビュー数当たりの単価は前第4四半期会計期間から同程度の水準で推移しておりますが、ページビュー数に関して当第2四半期連結会計期間では若干回復傾向にあったものの前第2四半期連結累計期間と比較すると下落傾向が続いており、アドネットワーク事業による売上高が低迷しております。また、2021年3月に立ち上げを行った占いメディア「Plush」は、規模が小さく売上への寄与度は限定的なものとなっております。現在は、人材派遣事業で構築したゲーム業界のチャネルを活かし、ゲームタイトルのプロモーション受託案件の注力・拡大により、売上高の拡大を図っております。

この結果、当セグメントの売上高は44,399千円（前年同期比24.1%増）、セグメント利益は6,410千円（前年同期比12.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて119,548千円増加し、2,557,108千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加114,068千円等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて40,413千円減少し、741,738千円となりました。これは主に、長期借入金の減少45,000千円等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて159,962千円増加し、1,815,370千円となりました。これは、資本金の増加1,350千円、資本剰余金の増加1,350千円、利益剰余金の増加155,947千円、新株予約権の増加1,315千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の67.6%から70.7%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて114,068千円増加し、1,838,912千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は371,350千円（前年同期は129,211千円の収入）となりました。主な増加要因として、税金等調整前四半期純利益490,557千円、主な減少要因として、法人税等の支払額105,499千円、未払消費税等の減少37,922千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は31,765千円（前年同期は9,333千円の支出）となりました。増加要因として、差入保証金の回収による収入38,742千円、主な減少要因として、有形固定資産の取得による支出55,726千円及び資産除去債務の履行による支出11,230千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は225,156千円（前年同期は418,559千円の収入）となりました。これは増加要因として、新株予約権の行使による株式の発行による収入2,700千円、減少要因として、配当金の支払183,216千円、長期借入金の返済による支出45,000千円によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月12日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。なお、新型コロナウイルスによる影響は2023年3月期を通じて継続するものの、徐々に収束していくとの仮定に基づいております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,724,844	1,838,912
売掛金	515,231	516,906
未収入金	589	984
その他	27,597	26,910
流動資産合計	2,268,262	2,383,714
固定資産		
有形固定資産		
建物	34,293	45,797
減価償却累計額	△18,645	△2,204
建物(純額)	15,648	43,592
工具、器具及び備品	26,151	39,623
減価償却累計額	△17,383	△18,243
工具、器具及び備品(純額)	8,767	21,380
有形固定資産合計	24,415	64,972
無形固定資産		
ソフトウェア	11,789	13,180
商標権	145	137
無形固定資産合計	11,935	13,317
投資その他の資産		
繰延税金資産	49,008	43,279
差入保証金	83,319	51,367
その他	618	457
投資その他の資産合計	132,946	95,104
固定資産合計	169,297	173,394
資産合計	2,437,559	2,557,108
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	90,000	67,500
未払金	43,685	44,297
未払費用	258,920	265,824
未払法人税等	118,577	159,783
未払消費税等	131,543	93,621
預り金	16,144	18,587
返金負債	276	271
賞与引当金	100,504	91,853
流動負債合計	759,652	741,738
固定負債		
長期借入金	22,500	—
固定負債合計	22,500	—
負債合計	782,152	741,738
純資産の部		
株主資本		
資本金	497,384	498,734
資本剰余金	389,378	390,728
利益剰余金	761,274	917,221
株主資本合計	1,648,036	1,806,683
新株予約権	7,371	8,686
純資産合計	1,655,407	1,815,370
負債純資産合計	2,437,559	2,557,108

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	2,094,988	2,544,586
売上原価	1,376,304	1,641,310
売上総利益	718,684	903,276
販売費及び一般管理費	364,556	402,230
営業利益	354,127	501,045
営業外収益		
受取利息	4	8
物品売却益	2	—
営業外収益合計	6	8
営業外費用		
支払利息	962	488
支払手数料	—	206
株式交付費	6,008	—
営業外費用合計	6,970	695
経常利益	347,163	500,358
特別利益		
新株予約権戻入益	—	759
特別利益合計	—	759
特別損失		
固定資産除却損	—	2,873
事務所移転費用	—	7,687
特別損失合計	—	10,560
税金等調整前四半期純利益	347,163	490,557
法人税、住民税及び事業税	103,174	145,665
法人税等調整額	10,399	5,728
法人税等合計	113,574	151,394
四半期純利益	233,589	339,163
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	233,589	339,163

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	233,589	339,163
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	233,589	339,163
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	233,589	339,163
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	347,163	490,557
減価償却費	4,061	15,618
受取利息及び受取配当金	△4	△8
固定資産除却損	—	2,873
株式交付費	6,008	—
株式報酬費用	—	2,074
新株予約権戻入益	—	△759
移転費用	—	7,687
売上債権の増減額 (△は増加)	18,055	△1,675
未収入金の増減額 (△は増加)	△334	△394
未払金の増減額 (△は減少)	△4,699	△185
未払費用の増減額 (△は減少)	5,865	6,926
預り金の増減額 (△は減少)	2,589	2,443
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△26,987	△8,651
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△66,729	△37,922
その他	4,572	6,432
小計	289,558	485,016
利息及び配当金の受取額	4	8
利息の支払額	△969	△488
移転費用の支払額	—	△7,687
法人税等の支払額	△159,381	△105,499
営業活動によるキャッシュ・フロー	129,211	371,350
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,972	△55,726
無形固定資産の取得による支出	△5,361	△2,501
差入保証金の回収による収入	—	38,742
差入保証金の差入による支出	—	△1,050
資産除去債務の履行による支出	—	△11,230
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,333	△31,765
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	463,559	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	2,700
長期借入金の返済による支出	△45,000	△45,000
配当金の支払額	—	△183,216
財務活動によるキャッシュ・フロー	418,559	△225,516
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	538,437	114,068
現金及び現金同等物の期首残高	940,324	1,724,844
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,478,761	1,838,912

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	人材	メディア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,059,202	35,785	2,094,988	—	2,094,988
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,059,202	35,785	2,094,988	—	2,094,988
セグメント利益	538,895	7,307	546,203	△192,075	354,127

(注) 1. セグメント利益の調整額△192,075千円には、各報告セグメントに配分されていない全社費用192,075千円が含まれております。
2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	人材	メディア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,500,187	44,399	2,544,586	—	2,544,586
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,531	—	10,531	△10,531	—
計	2,510,718	44,399	2,555,118	△10,531	2,544,586
セグメント利益	730,996	6,410	737,407	△236,361	501,045

(注) 1. セグメント利益の調整額△236,361千円には、各報告セグメントに配分されていない全社費用236,361千円が含まれております。
2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。